

厄除元三大師大祭・深大寺だるま市

～東京に春を呼ぶ季節の風物詩～

七転び八起きの縁起だるまで賑わう「深大寺だるま市」は、日本三大だるま市の一つとされ、江戸時代から続く季節の風物詩として広く親しまれています。厄除元三大師大祭（やくよけがんざんだいしたいさい）に合わせて開催され、元三大師堂で厄難消除、諸願成就の護摩祈願が行われる中、境内を赤く染めるほど多くのだるまが並びます。

境内で購入しただるまには、左目に物事の始まりを表す梵(ぼん)字の「阿(あ)」を、納めるだるまには右目に物事の成就を表す「吽(うん)」の字を僧侶が入れる事でも知られています。

【日程】

令和8年3月3日(火)、4日(水) 午前9時～午後4時頃

【場所】

深大寺境内及び山門周辺

【内容】

だるまの目入れ、護摩祈願、お練り行列(各日午後1時45分～)

【交通規制】

深大寺通り車道一部一方通行(深大寺信号機～深大寺小前信号機間)

各日 午前10時～午後4時頃

※三鷹通りから進入不可

